

茨城県 育成会だより

第 135 号

発行日 平成 30 年 7 月 10 日
 発行 一般社団法人
 茨城県手をつなぐ育成会
 編集 広報委員会
 事務局 〒310-0851 水戸市千波町 1918
 茨城県総合福祉会館内
 ☎ 029-243-3838
 FAX 029-243-3854
 URL <http://www.ibaikuseikai.com/>
 e-mail iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp



作業風景 熱心に手が動く



近くの工場見学 おみやげももらった



楽しい“まいあみまつり”



コンビニ店での買物訓練

社会福祉法人「若草会」

就労継続支援施設 ワークステーション若草園
 特定相談支援事業所わかさ管理者 黒岩有紀

社会福祉法人「若草会」は、平成十八年、稲敷郡阿見町に通所による就労訓練施設（現就労継続支援B型）として開設いたしました。当時、特別支援学校高等部卒後の進路先が（県南に）少なく、障がいがあっても自身なりの働き方をしたいとの希望が多く、その実現を目指しました。

平成十八年、障害者自立支援法が施行され、皆さんの生活が大きく変化したことにお気づきでしょうか？支援を望む姿から（受動）、自立した生活を実現すべく個々に合った活動（能動主体）が自己選択（自己責任のもと）できるようにしました。

さて、皆さんは毎日目標（課題）を持って生活・通所していますか？こんな生活がしたい…。こうなりたい…。の実現には目標（課題）を持った取り組みが必要です。結果、達成（評価）が生まれます。苦手だから…。できないから…。と諦めていませんか？一緒に考えてくれるその人が本当の支援者です。

共生社会を目指すための努力として、私も障がい者支援施設も社会・地域への歩み寄りが大切と考えます。労働人口が減る昨今、地域からの仕事依頼（自治体・一般企業様より）が増えています。毎日、意欲を持って働く仲間を集めて、各々が自立した生活を目指し仕事（作業）を遂行しています。上記の写真は、若草園ご利用者様の日中活動の一部です。（作業風景・まいあみまつり・工場見学・買い物訓練など）

また、計画相談も町内外よりお受けしております。計画相談により皆さんの生活全般の目標（課題）が明確になり、通所される施設での個別支援計画により、具体的な取り組み、支援の在り方などが見えてくるかと思えます。時に変化（成長）を求めることは不安も有るでしょう。しかし、成長を求める思いこそ目標を実現する原動力になるのでは？

自立した生活とは…？共生社会を目指す障がい者支援施設としての働きかけは多種多様？挑戦の毎日です。

一般社団法人化後 初の総会を開催

今年度の3つの重点テーマを設定

〔法人化後2年目へ〕

一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会の総会が、6月11日（月）10時から、水戸市の県総合福祉会館で行なわれました。今回の総会は、県育成会の一般法人化に伴い昨年までの評議員会に替わるもので、新育成会として、新たな年度の開始を知らせる象徴的な意味を持つものです。

総会出席者は単位育成会会長等ですが、当日の出席者27名に加えて、欠席者7名が議決権を行使して、第1号・第2号議案（平成29年度事業報告・決算報告）および第3号・第4号議案（30年度事業計画案・収支予算案）が、それぞれ質疑応答ののち全員の賛同で可決されました。とくに今回は、これまで以上に数多くの質問が出席者から出され、それに対して、事務局中心に誠意ある回答が提示されたことが目立ちました。さらに、第5号議案（役員の変更）に関しては、各ブロック代表の27名の理事および監事2名が、承認されました。

なお、会議の冒頭、来賓として出席された県障害福祉課松山課長と県特別支援教育課板橋課長（代読）から、日ごろの県育成会の活動を高く評価していること、さらに社団法人化後の今後のますますの発展に期待しており、行政側としても、新しい施策、サービスをどう実施していくかに腐心しているとの趣旨のあいさつがありました。ありがとうございます。

育成会矢野会長の総会でのあいさつ・発言の要旨は、5ページにまとめてありますので、ご参照ください。

〔総会後 ブロック会議を行なう〕

総会が熱心な討議で閉会したのち、地域別の5ブロック（県北ブロック 地域育成会会員数6－理事数3、県中10－6、鹿行6－3、県南14－7、県西7－3）に分かれて、なごやかな雰囲気の中、それぞれの問題点・懸案事項などが話し合われました。

30年度事業計画の概要

〔詳細については、県育成会のホームページをご覧ください〕

1. 基本方針の概要 県育成会は、共生社会の実現と障害福祉の向上をめざして、次の事項を基本方針として活動を展開していきます。

- (1) 行政への要望および県民啓発活動の強化
 - (2) 権利擁護の推進
 - (3) 地域育成会への充実した情報提供
 - (4) 特別支援教育発展の取り組み
 - (5) 関係機関との連携強化
 - (6) 会員拡大の取り組み
 - (7) 第19回全国障害者スポーツ大会への協力と参加の推進
 - (8) 組織の活性化と財源の確保
- （平成30年度重点テーマ）特に、今年は、次のテーマを重点に取り組みます。

- ①「心のとも運動」の強化
- ②特別支援学校との交流事業の推進
- ③ホームページの活用による地域育成会への充実した情報提供

2. 組織の強化

- ・総会：定款第15条に規定する事項を決議するため、各会員（単位育成会会長）による総会を開催する。
- ・理事会：執行機関として、総会に諮る事項の調整および総会で決定した事項の執行。
- ・委員会：前年からの5委員会を踏襲。総務委員会は、各委員会の企画につき審議し調整を図る。
- ・地域育成会：県育成会と地域育成会との連携を強化。地域育成会同士の連携を促進する。
- ・特別支援学校保護者等との交流事業の推進を図る。

3. 県・市町村への要望活動

4. 財政基盤の確立

- ・「心のとも運動」の啓発活動を行なう。小中学校への訪問による働きかけ。
- ・賛助会員の加入促進

5. 事業活動

変化する障害福祉制度などの理解を深めるとともに、会員の質的レベルアップを図るため、質の高い研修会を積極的に開催する。

6. 育成会茨城大会の開催および全国研修会等への参加

7. 本人活動への支援

- ・障害者の福祉増進を図り、生きがいづくりや社会参加等を促進するため、次の事業を展開する。
- ・ボランティア活動参加促進事業の実施・本人部会交流会への支援・障害児教育活動に対する支援

8. スポーツ・文化行事への参加 県スポーツ文化協会が行なう事業に参加し、障害者の自立と生きがいづくりを支援する。いきいき茨城ゆめ大会（第19回全国障害者スポーツ大会）への協力。

9. 社会啓発活動と情報提供

- ・会報「育成会だより」の年3回（7・12・3月）発行
- ・ホームページによる会員への最新情報の提供および県民等への啓発の実施
- ・全国手をつなぐ育成会連合会や関係機関・団体等からの情報収集と提供

10. 茨城県障害者権利擁護対策推進事業（県からの委託事業）

県からの委託を受け、相談者を配置し、①「障害者なんでも相談室」②「茨城県障害者権利擁護センター」を運営する。26年度運用開始。他に、知的障害者相談員研修会を年3回行なう。

11. 茨城県障害者権利条例推進事業（特定相談）（県からの委託事業）

県からの委託を受け、障害のある人に対する差別に関する相談に応じ、関係者間の調整や関係機関との連携を図りながら差別の解消に取り組むため、「茨城県障害者差別相談室」を設置し運営する。27年度運用開始。

一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会 平成29年度決算報告(一般事業)

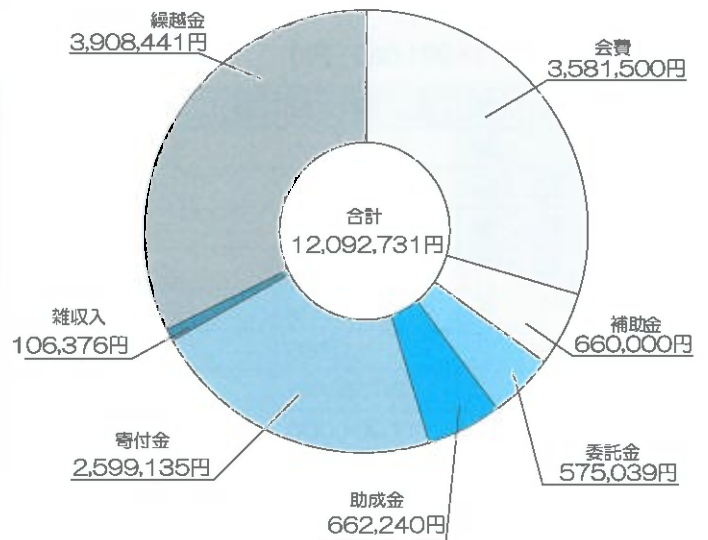
期間 自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

一般事業決算収入の部グラフ

【収入の部 12,092,731円】

単位：円

款 項	決 算 額	割 合
会 費	3,581,500	29.6%
補 助 金	660,000	5.5%
委 託 金	575,039	4.8%
助 成 金	662,240	5.5%
寄 付 金	2,599,135	21.5%
雑 収 入	106,376	0.9%
繰 越 金	3,908,441	32.3%
計	12,092,731	100%

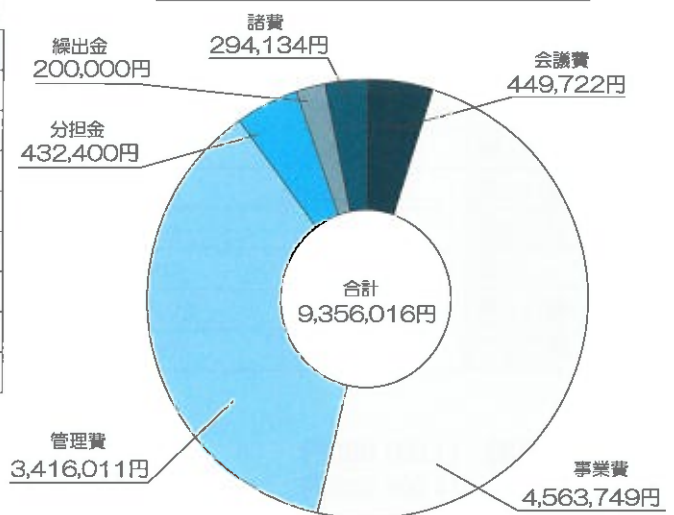


【支出の部 9,356,016円】

単位：円

款 項	決 算 額	割 合
会 議 費	449,722	4.8%
事 業 費	4,563,749	48.8%
管 理 費	3,416,011	36.5%
分 担 金	432,400	4.6%
繰 出 金	200,000	2.1%
諸 費	294,134	3.1%
予 備 費	0	0.0%
計	9,356,016	100%

一般事業決算支出の部グラフ



収入合計額 12,092,731円
支出合計額 9,356,016円
差引剰余額 2,736,715円

一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会 平成30年度一般会計予算

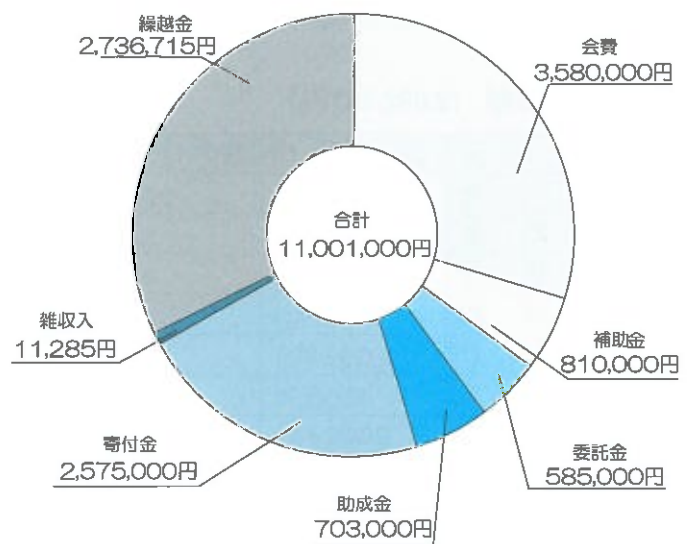
期間 自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

【収入の部 11,001,000 円】

単位：円

款 項	予 算 額	割 合
会 費	3,580,000	32.5%
補 助 金	810,000	7.4%
委 託 金	585,000	5.3%
助 成 金	703,000	6.4%
寄 付 金	2,575,000	23.4%
雑 収 入	11,285	0.1%
繰 越 金	2,736,715	24.9%
計	11,001,000	100%

一般会計収入の部グラフ

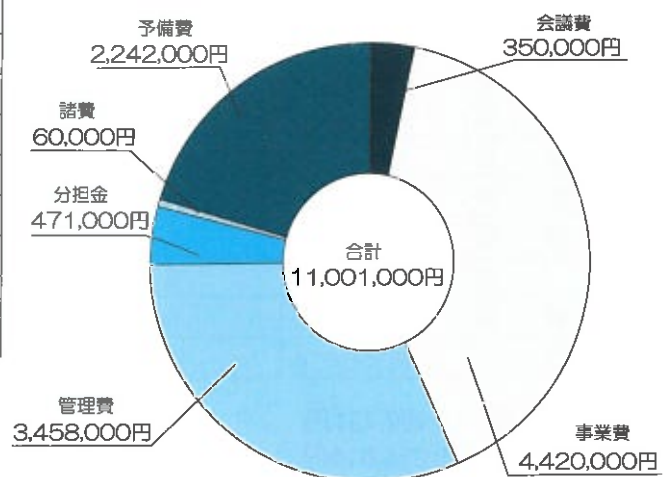


【支出の部 11,001,000円】

単位：円

款 項	予 算 額	割 合
会 議 費	350,000	3.2%
事 業 費	4,420,000	40.2%
管 理 費	3,458,000	31.4%
分 担 金	471,000	4.3%
繰 出 金	0	0.0%
諸 費	60,000	0.5%
予 備 費	2,242,000	20.4%
計	11,001,000	100%

一般会計支出の部グラフ



収入合計額 11,001,000円
支出合計額 11,001,000円

「親なきあと問題」も懸案事項の一つ

全会員のご協力を — 矢野会長 総会で語る

《法人化して2年目を迎える》

本日は、皆さま大変にご多忙のところ、平成30年度一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会の総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。これまで、県手をつなぐ育成会にご支援・ご協力いただきましたこと、また、法人化して2年目を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げます。

障害者を取り巻く環境が急速に変わる中、法整備がいろいろと進んできておりますが、その反面、在宅支援をする家族の病気や高齢化、障害者施設等での人手不足など、障害者の生活環境が変わってきております。

国においては、地域共生社会の実現に向けて、平成29年2月に、「我が事・丸ごと」の地域づくりを提起し、本年4月に共生型サービスが創設されました。それを円滑に推進するためには、障害者が地域社会で当たり前で暮らせるための、合理的配慮を進める活動をしていくことが、われわれ手をつなぐ育成会としても、私個人としても必要であると、痛切に感じております。

また、親なきあとの問題が、年々、大きな課題となってきている中、県育成会として、機会あるごとにこの種の研修会を行なってきています。また、私個人としても、県内単位育成会の会合や総会に出席して、短時間ではありますが、「親なきあと、だれが自分の子どもの面倒をみるか」という面から、皆さまにお話しをさせていただいております。

《幾多の課題に全力で対応》

今年度も、昨年度から進めてきた「親なきあとの問題」と「特別支援学校との関係づくり」とを組みの柱として推進して参りたいと考えております。もとより、これ以外にも幾多の懸案事項がありますので、これらの諸問題に県育成会として、全力で対応して参る所存です。

本日ご出席の各育成会の会長、理事、その他の役員・関係者の方々はもとより、すべての会員の方々のご支援とご協力をお願い申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。



あいさつする矢野会長



熱心に説明を聞く出席者たち

“シンポジウム”開催—110名が参加

ひたちなか市障害児者育成会 黒澤 義明

去る3月17日、ワークプラザ勝田を会場に、茨城県肢体不自由児者父母の会連合会の共催を得て、シンポジウム「障害者の兄弟がいるということ…」を開催しました。

シンポジウムは、コーディネーターとして淑徳大学准教授山下興一郎氏をお迎えし、障がい者兄弟であるパネラーの4名の発表、山下先生とパネラーとの意見交換、山下先生の講話「きょうだいと地域福祉」、質疑応答の順に進行しました。

兄弟の発表では、子供たちの真剣に話す様子に会場内は終始温かな雰囲気になりました。山下先生とパネラーとの意見交換では、それぞれが思い悩んでいた時期の心境を少しだけ垣間見ることが出来ました。山下先生の講話は、「地域で私たちが目指すものは…」を問う内容で、シンポジウムをまとめて頂きました。

シンポジウムは、当初の予想を上回り総勢110名の参加者を数え、アンケートの回答結果では、「トイレ休憩が欲しかった。」「質問の取り方に工夫を。」との意見が寄せられました。今回、多くの方々の協力を頂き、好評のうちに終了したことを報告するとともに、皆様に感謝申し上げます。



山下先生とパネラーたち



参加者は110名を数えた

『障がいがある人の権利擁護—施設・家庭の虐待から考える—』

講師 一般社団法人茨城県社会福祉士会会長

特定非営利活動法人スペース空理事長 竹之内 章代氏

県手をつなぐ育成会 副会長 嶋田みち子

3月1日、県総合福祉会館において、県研修委員会主催で「障がいがある人の権利擁護」のテーマで研修会が開催されました。

平成24年10月より障害者虐待防止法が施行されましたが、障害者が虐待されるニュースは後を絶ちません。この現状を受け、今回の研修では竹之内章代先生をお呼びし、虐待と指導との違いや、虐待の防止方法等について講演頂きました。当日は悪天候にもかかわらず、多くの方々が参加しました。

障害者が虐待を受ける場には、家庭・福祉施設・職場等があり、その内容は、身体的・心理的・性的・放任放置・経済的と様々です。声を上げることが極端に苦手な障害者にとっては、どれも耐え難いものです。講演では、施設や事業所において、虐待を防止するために職員の質を向上させることや、組織的に虐待防止に取り組むことが重要との話がありました。また、虐待が発生した場合、市町村虐待防止センターが迅速かつ適切に対応できることも重要です。

当たり前のことですが、障害者も親や指導員、職場の仲間と同じ人間です。楽しいことをすれば嬉しいと感じ、おいしいものを食べれば幸せを感じます。一方で、嫌なことをされれば悲しくなり、暴力を受ければ痛いと感じます。この当然のことを忘れてしまった場合、障害者への虐待は起こり得ると考えられ、人が人を支援・介護することの難しさを感じました。

障害者の人権が守られる社会は、誰にとっても暮らしやすく、安心で安全な社会のはずです。そのような社会を、家庭や施設、行政だけでなく、市民全体と協力して作り上げていくことが重要と思いました。

役員・専門委員会名簿

2年間よろしくお願いします。

茨城県手をつなぐ育成会役員名簿

茨城県手をつなぐ育成会委員会名簿

(平成 30 年 6 月 11 日現在)

役職	氏名	所属
会長	矢野 清	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会
副会長	稲川 栄	日立市手をつなぐ親の会
副会長	嶋田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会
副会長	中村 正子	ひたちなか市障害児者育成会
副会長	飯村 晴代	つくばみらい市手をつなぐ育成会
副会長	大坪 浩	利根町手をつなぐ育成会
副会長	大高 滋	古河市中心身障害児(者)父母の会
理事	鈴木 金一郎	北茨城市手をつなぐ育成会
理事	菊池 均	常陸太田市手をつなぐ育成会
理事	杉山 正美	小美玉市中心障がい児者父母の会
理事	伊藤 隆子	笠間市手をつなぐ育成会
理事	大久保 淑子	東海村心身障がい児者親の会
理事	富田 和子	水戸手をつなぐ育成会
理事	高橋 等	鹿島あゆみの会
理事	吉川 佳代子	潮来市障がい者児親の会
理事	山本 敬由	NPO法人あすなろ会
理事	名兒耶 清吉	牛久市手をつなぐ育成会
理事	徳永 一成	稲敷市手をつなぐ育成会
理事	根目沢 浩幸	かすみがうら市手をつなぐ育成会
理事	渡辺 征	土浦市手をつなぐ育成会
理事	和田 澄子	境町心身障害児者父母の会
理事	大島 みのる	桜川市手をつなぐ育成会
理事	住田 福祉	茨城県心身障害者福祉協会
理事	小林 尚志	茨城県教育研究会特別支援教育研究部
理事	中村 やえ子	茨城県特別支援学校知的障害教育校長会
理事	伊藤 広也	本人部会
監事	木村 朋子	育心園保護者会
監事	川内 幸子	水戸手をつなぐ育成会
常務理事 兼事務局長	小森 廣之	一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会

委員会	氏名	所属	備考	
総務	矢野 清	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会	会長	
	稲川 栄	日立市手をつなぐ親の会	副会長	
	嶋田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会	副会長	
	中村 正子	ひたちなか市障害児者育成会	副会長	
	飯村 晴代	つくばみらい市手をつなぐ育成会	副会長	
	大坪 浩	利根町手をつなぐ育成会	副会長	
	大高 滋	古河市中心身障害児(者)父母の会	副会長	
	嶋田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会	研修委員長	
	山本 敬由	NPO法人あすなろ会	広報委員長	
	名兒耶 清吉	牛久市手をつなぐ育成会	権利擁護委員長	
	鈴木 金一郎	北茨城市手をつなぐ育成会	学齢期委員長	
	研修	高橋 等	鹿島あゆみの会	
		嶋田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会	
高安 米子		ひたちなか市障害児者育成会		
櫻井 詩子		土浦市手をつなぐ育成会		
吉川 佳代子		潮来市障がい者児親の会		
堀江 由枝		水戸手をつなぐ育成会		
大越 わくり		NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会		
広報		山本 敬由	NPO法人あすなろ会	
	杉山 正美	小美玉市中心障がい児者父母の会		
	青木 礼子	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会		
	渡辺 征	土浦市手をつなぐ育成会		
	徳永 一成	稲敷市手をつなぐ育成会		
	稲川 栄	日立市手をつなぐ親の会		
	大島 みのる	桜川市手をつなぐ育成会		
	大高 滋	古河市中心身障害児(者)父母の会		
権利擁護	名兒耶 清吉	牛久市手をつなぐ育成会		
	大坪 浩	利根町手をつなぐ育成会		
	菊池 均	常陸太田市手をつなぐ育成会		
	根本 順子	水戸手をつなぐ育成会		
	永井 立雄	日立市手をつなぐ親の会		
学齢期	鈴木 金一郎	北茨城市手をつなぐ育成会		
	嶋 昌子	笠間市手をつなぐ育成会		
	伊藤 隆子	笠間市手をつなぐ育成会		
	富田 和子	水戸手をつなぐ育成会		
	中村 正子	ひたちなか市障害児者育成会		
	大久保 淑子	東海村心身障がい児者親の会		
	根目沢 浩幸	かすみがうら市手をつなぐ育成会		
	和田 澄子	境町心身障害児者父母の会		
	齋久保 真依子	常陸大宮市手をつなぐ育成会		
	伏見 千夏	小美玉市中心障がい児者父母の会		

茨城県手をつなぐ育成会名簿

平成30年6月現在

No.	ブロック	会名	会長名
1	県北	日立市手をつなぐ親の会	渡 辺 千代子
2		高萩市手をつなぐ育成会	豊 田 守
3		北茨城市手をつなぐ育成会	鈴 木 金一郎
4		常陸太田市手をつなぐ育成会	菊 池 均
5		大子町心身障害児者父母の会	菊 池 和 保
6		常陸大宮市手をつなぐ育成会	関 多恵子
7	県中	水戸市手をつなぐ親の会連絡協議会	小田野 隆 之
8		水戸手をつなぐ育成会	田 口 美 博
9		ひたちなか市障害児者育成会	深 谷 悦 男
10		笠間市手をつなぐ育成会	石 川 美佐穂
11		那珂市心身障がい児者親の会	若 谷 則 彦
12		小美玉市心身障がい児者父母の会	杉 山 正 美
13		東海村心身障がい児者親の会	鈴 木 芳 江
14		育心園保護者会	森 泉 里 香
15		若葉園父母の会	熊 谷 正
16		NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会	矢 野 清
17	鹿行	鹿島あゆみの会	高 橋 等
18		潮来市障がい者児親の会	吉 川 佳代子
19		鉾田市手をつなぐ育成会	給 前 ゆう子
20		NPO法人あすなろ会	鶴 谷 慶 一
21		神栖啓愛園保護者会	花 田 三 男
22	あさひの家家族会	喜 多 幸 通	
23	県南	土浦市手をつなぐ育成会	渡 辺 征
24		石岡市手をつなぐ親の会	菊 地 喜 之
25		石岡市心身障害児者父母の会	岩 橋 ふ み
26		石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会	嶋 田 みち子
27		NPO法人取手市手をつなぐ育成会	野 本 真 弓
28		取手青年学級 YMO	大久保 朋 子
29		牛久市手をつなぐ育成会	古 館 佳 巳
30		莖崎手をつなぐ育成会	橋 本 佳 子
31		稲敷市手をつなぐ育成会	徳 永 一 成
32		かすみがうら市手をつなぐ育成会	根目沢 浩 幸
33		つくばみらい市手をつなぐ育成会	飯 村 晴 代
34		河内町手をつなぐ育成会	金 子 由 夫
35	利根町手をつなぐ育成会	大 坪 浩	
36	つくば市手をつなぐ育成会	後 藤 真 紀	
37	県西	古河市心身障害児(者)父母の会	大 高 滋
38		結城市手をつなぐ育成会	外 山 理 江
39		結城市心身障害児(者)父母の会	菅 谷 久美子
40		坂東市心身障害児者父母の会	栗 原 芳 男
41		下妻市心身障害児者父母の会	森 田 スミエ
42		桜川市手をつなぐ育成会	大 島 みのる
43		境町心身障害児者父母の会	福 田 勝 房

特別支援学校紹介

茨城県内の特別支援学校を順次紹介していきます



県立境特別支援学校（猿島郡境町）

本校は茨城県立境西高等学校の跡地に平成23年に設置し、平成24年茨城県立境特別支援学校として開校になり、今年で創立7年目を迎えます。広いグラウンド、緑の木々に囲まれた学習環境に恵まれた地にある学校です。今年度は小学部（87名）、中学部（92名）、高等部（88名）、計267名が在籍しています。

小学部では、基本的な生活習慣を定着させ自分でできることを増やすこと、また、様々な体験や交流活動をとおして豊かな心を育み、社会性を身につけることを目指した取り組みを行っています。「わかった」「できた」とおし、自ら学習に向かう気持ちや、自分でできることは自分でやろうとする気持ちを育てています。

中学部では、日々の学習や体験的な活動をとおして、生活の中で必要となる基礎的な学力と、一定時間活動に取り組める体力を重視した学習活動を行っています。また、その過程で自分の役割は自分から進んで行おうとする気持ちを育てています。

高等部では、地域の中で役割をもって生活する自立と社会参加を目指し、必要なコミュニケーションや、社会人としてのマナーを身につけています。高等部2年生からは一人一人の学びのペースに合わせ、3つのコースに分かれて学習し、自分のペースでより学びやすく、よりできる力を育みはたらく力、はたらし続ける力を育てています。

今回は、交流および共同学習の取り組みとして小・中学部で実施している学校間交流、高等部の地域連携の様子を写真でご紹介します。

【小学部 学校間交流】

近隣の小学校の児童と一緒に学校探検やゲームをして交流しています。



【中学部 学校公開】

学校公開の際に、障害者スポーツ「卓球バレー」に取り組みました。



【高等部 カフェ スマイル開店】

地域の商業施設の一角に、高等部フード班が喫茶店を開店しています。デュアル実習として取組み、地域の方々におもてなしをしています。



【運動会】

予定されていた運動会が雨天中止だったため、10/24にミニ運動会を行いました。



平成30年7月からの行事予定

月	日(曜日)	行事予定	月	日(曜日)	行事予定
7月	10日(火)	育成会だより135号発行	11月	15日(木)	権利擁護委員会第2回研修会 (茨城県総合福祉会館)
8月	24日(金)	権利擁護委員会研修会 (茨城県総合福祉会館)		25日(日)	第2回本人部会交流会(県総合福祉会館)
9月	14日(金)	第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会川崎大会	12月	6日(木)~ 10日(月)	ナイスハートふれあいフェスティバル2018 ・ナイスハート美術展(6日~10日) ・発表会(学校教育の部)(7日) ・発表会(一般の部)(8日)
	23日(日)	第56回茨城県身体障害者スポーツ大会(笠松運動公園)		10日(月)	育成会だより136号発行
	26日(水)	研修委員会研修会 (茨城県開発公社ビル)		平成31年 2月	8日(金)
10月	12日(金)	第2回知的障害者相談員研修会 (茨城県総合福祉会館)	23日(土)~ 24日(日)	第5回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会京都大会	
	13日(土)~ 15日(月)	第18回全国障害者スポーツ大会(福井県)	3月	10日(日)	育成会だより137号発行
	24日(水)	第56回手をつなぐ育成会茨城大会 (茨城県総合福祉会館)			

新任相談員のごあいさつ

よろしくお願いします

私は長きに渡り、幼児教育を通して水戸市の教育機関にお世話になり、その後、臨床心理学を学ぶために3年程東京に在住し2年前に水戸に戻って参りました。その間、サンフランシスコでの大学院の講義や各施設(児童相談所・養護施設・学校・里親支援等の役割をもつ)を視察し、アメリカの現状等も学ぶ機会を得ることが出来ました。

昨年は、福祉相談センター(中央児童相談所)にて主に成人の心理判定に携わる中で、知的障害(身体・精神)の方々に関わって参りました。今後も、生きる上での困難さを抱えた方々のお役に立つことが出来れば、との思いを強くしております。障害のあるなしにかかわらず、人々が共に歩み幸せな暮らしが実現できることを目指し、法律だけではなく人々の温かい心に守られ、支え合える茨城県民であることを願いつつ、努力を重ねていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



「障害者差別相談室」
山本 忍

編集後記

新たな広報委員が加わり、「育成会だより135号」をお届けします。

「特別支援学校紹介」-皆さんのお子さんの出身校はご覧になりましたか。私の息子は、父親の転勤もあり、県内4校に在籍しました。環境が変わるたびに、不安の連続でした。大嫌いな運動会が春・秋と続いた時はかわいそうでしたが、懐かしい思い出です。県内順次に紹介していますので、ご期待ください。
(青木)